



第247号
 編集責任
 筑波大学新聞
 編集委員会
 委員長 榎 隆
 TEL: 029(253)2040-1555
 E-mail: shimbun@u-tokai.ac.jp
 発行所
 筑波大学
 茨城県つくば市
 天宮台1-1-1



本年度から
9学群23学類に再編
新学群隣接する学問分野で

今年度の夏休み、初めて8月31日までの休暇を経験した。実家のある山形県は夏休みが短かった。例年8月22か23日に夏休みは終わる。休みが1カ月ない年もある▼全国版のテレビニュースは、毎年8月31日の夏休み最終日、プールではしゃぐ小学生の姿を放送する。そんな時、山形の子供は教師に「なんで山形県は夏休みが短い」と聞く。答えは決まっていた。「山形は雪国だから。その分、北海道のように冬休みが長い」。その後、それは嘘であることがわかった▼授業数を増やして過密授業を緩和する。それによって教師の負担を減らすことが目的だと聞いた。小学校のクラスメートが集まって、討論したこともある。「不公平だ」「もっと遊びたい」。不満が噴出した▼進学する大学までも夏休みが短いとは予想だにできなかった。先日、同じ学類の友人と3学期制についての議論になった。当然、筑波大の夏季休業も話題にのぼった。小学生の議論とちがって、留学や海外旅行、免許合宿など、長期休暇をどう有効に使って話弾んだ▼学生も大学も、長期休暇の可能性に気づいていないのかもしれない。私なら、長期休暇がさらに長くなったら、好きな漫画家のスタジオでアシスタントとして働いてみたい。休暇が長くなれば、夢も可能性も無限大になるはずだ。

ナンバー学群を廃止

記者会見で学群再編案を説明する岩崎学長(提供:常陽新聞新社)



新学群の最大の特徴は、「コア・カリキュラム」を学問領域の近い学類で新学群を編成し、学群の実体化を図ることになる。記者からは「筑波大学の特色である学際性が失われるのではないか」という質問がでた。これに対して岩崎学長は「教員組織から互

73年の開学以来、新構想大学の中核として文理融合、学際性の中核になってきたナンバー学群が34年目に姿を変えていくことになる。岩崎学長が7月21日午後、大学本部で記者会見し、「07年度からナンバー学群を廃止し、現行の7学群15学類を9学群23学類に再編する」と発表した。体育、芸術の2専門学群は現行通り。学群・学類再編問題は昨春秋に検討委員会を設置し、新たな学問領域に柔軟に対応し、受験生や社会から見て「わかりやすい」教育組織を目指して検討を進めてきた。新学群編成委員会(委員長:林史典副学長・教育担当)の再編案を7日の教育研究評議会でも了承、21日午前、開かれた役員会で決定した。12月に文部科学省と協議し、2年後に第一期中期計画を変更する。(特集面に関連記事)

コア・カリキュラム編成へ

29日に行われた大学説明会でも説明し、受験生に周知徹底を図った。

新学群の最大の特色は、「コア・カリキュラム」を学問領域の近い学類で新学群を編成し、学群の実体化を図ることになる。記者からは「筑波大学の特色である学際性が失われるのではないか」という質問がでた。これに対して岩崎学長は「教員組織から互

た「学群・学類再編の考え方や基本骨格について」で「理工学群」に情報学類を加えて編成し、図情は現行のまま存続させることになっていた。しかし4月末に、この「情報学群案」が急浮上し、情報と図情の教員で検討を進めてきた。医学群は、現在の医学専門学群を改称した。医学類と看護・医療科学類を看護学類と医療科学類に分けて編成する。06年度以前の入学者は、卒業まで現行の学群・学類に在籍したまま学年進行することになる。

比較文化、日本語・日本文化の3学類で編成した。社会・国際学群は、社会学類と国際総合学類からなり、本学の「社会科学」分野の対外的顔になる。人間学群は、人間学類の教育学、心理学、心身障害学の3専攻をそれぞれ、教育、心理、障害学、生命環境学群は、生物、生物資源の両学類と新設する地球学類で編成する。地球学類は、自然学類の地球科学専攻を学類化したもので、生命環境科学研究科に対応させた。理工学群は、自然学類を改組して新設する数学類、物理学類、化学類と工学基礎学類を改称した応用理工学類、工学システム学類、社会学類の6学類からなる。応用理工学類は工学との差異を明確にするための名称でもある。当初「工学」分野と「理学」分野に分けて再編する案も検討されたが、最終的には「理工学群」として幅広く人材を募ることとした。情報学群は、現在の情報学類を改組した情報科学類と、図書館情報専門学群を改組した知識情報・図書館学類と新設の情報メディア創成学類で編成する。3月に執行部から示された3月31日の7カ月分を学生2450円、教職員4900円で販売している。定期券を持たない学生、教職員、学外者は従来通り、関東鉄道バスが設定した運賃を支払うことになる。同システムは関東鉄道バスの路線バスを使用し、本学一つくばセンター間を右回りと左回りで巡回する。定期券を使えば、路線バスを自由に乗り降りできる。

今年度の夏休みが短かった。例年8月22か23日に夏休みは終わる。休みが1カ月ない年もある▼全国版のテレビニュースは、毎年8月31日の夏休み最終日、プールではしゃぐ小学生の姿を放送する。そんな時、山形の子供は教師に「なんで山形県は夏休みが短い」と聞く。答えは決まっていた。「山形は雪国だから。その分、北海道のように冬休みが長い」。その後、それは嘘であることがわかった▼授業数を増やして過密授業を緩和する。それによって教師の負担を減らすことが目的だと聞いた。小学校のクラスメートが集まって、討論したこともある。「不公平だ」「もっと遊びたい」。不満が噴出した▼進学する大学までも夏休みが短いとは予想だにできなかった。先日、同じ学類の友人と3学期制についての議論になった。当然、筑波大の夏季休業も話題にのぼった。小学生の議論とちがって、留学や海外旅行、免許合宿など、長期休暇をどう有効に使って話弾んだ▼学生も大学も、長期休暇の可能性に気づいていないのかもしれない。私なら、長期休暇がさらに長くなったら、好きな漫画家のスタジオでアシスタントとして働いてみたい。休暇が長くなれば、夢も可能性も無限大になるはずだ。

新学内バス 学生定期は年4200円 丸善の学内全店で販売

新学内交通システムの運用が8月24日から始まった。学内構成員に対して発行される定期券の利

3月31日の7カ月分を学生2450円、教職員4900円で販売している。定期券を持たない学生、教職員、学外者は従来通り、関東鉄道バスが設定した運賃を支払うことになる。同システムは関東鉄道バスの路線バスを使用し、本学一つくばセンター間を右回りと左回りで巡回する。定期券を使えば、路線バスを自由に乗り降りできる。

文科省が進める「特色ある大学教育支援プログラム」(特色GP)の今年度の選考結果が7月22日、発表された。「教育課程の工夫改善に関する」分野で、芸術専門学群の「コア・デザイン教育による3C力の育成」が採択された。今年度の申請総数は410件で、採択数は47件だった。「特色GP」は教育の改善に関する。特色ある優れた取り組みを実践している大学を選び、社会に公表することによって高等教育の改善・改革を推進することを目的に03年度から開始された。本学では、初年度に医学専門学群の「先進的な

「アート・デザイン教育による3C力の育成」大学を開き地域を活かすプログラムは、地域や大学の中で「アート・デザイン」を企画し、練り上げることを通じて実践的な能力を養うと共に地域に貢献する教育を目指す。3C力とは、コミュニケーション力(互いに意思・感情・思考を伝達し合う力)、コラボレーション力(共同・協調してものごとを成し遂げる力)、コーディネーション力(人々との調整し、

芸術「3C力養成プロ」採択

文科省が進める「特色ある大学教育支援プログラム」(特色GP)の今年度の選考結果が7月22日、発表された。「教育課程の工夫改善に関する」分野で、芸術専門学群の「コア・デザイン教育による3C力の育成」が採択された。今年度の申請総数は410件で、採択数は47件だった。「特色GP」は教育の改善に関する。特色ある優れた取り組みを実践している大学を選び、社会に公表することによって高等教育の改善・改革を推進することを目的に03年度から開始された。本学では、初年度に医学専門学群の「先進的な

「アート・デザイン教育による3C力の育成」大学を開き地域を活かすプログラムは、地域や大学の中で「アート・デザイン」を企画し、練り上げることを通じて実践的な能力を養うと共に地域に貢献する教育を目指す。3C力とは、コミュニケーション力(互いに意思・感情・思考を伝達し合う力)、コラボレーション力(共同・協調してものごとを成し遂げる力)、コーディネーション力(人々との調整し、

「アート・デザイン教育による3C力の育成」大学を開き地域を活かすプログラムは、地域や大学の中で「アート・デザイン」を企画し、練り上げることを通じて実践的な能力を養うと共に地域に貢献する教育を目指す。3C力とは、コミュニケーション力(互いに意思・感情・思考を伝達し合う力)、コラボレーション力(共同・協調してものごとを成し遂げる力)、コーディネーション力(人々との調整し、

「アート・デザイン教育による3C力の育成」大学を開き地域を活かすプログラムは、地域や大学の中で「アート・デザイン」を企画し、練り上げることを通じて実践的な能力を養うと共に地域に貢献する教育を目指す。3C力とは、コミュニケーション力(互いに意思・感情・思考を伝達し合う力)、コラボレーション力(共同・協調してものごとを成し遂げる力)、コーディネーション力(人々との調整し、

事業説明会に46社参加

学生の要望反映へ サービス「避けられそう」

体芸、学生宿舎の食堂、売店、浴場を運営してきた吉池サービス(本社1つくば市天久保)が11月に撤退することを発表。厚生会は8月19日、後任事業委託に

関する説明会を開いた。説明会には、大手コンビニエンスストアのエーエム・ピーエム・ジャパン(本社1つくば市東区)やレストラン経営を手がけるヤマノ・スエヒロ・ダイニング(本社1つくば市東区)など46社が参加した。厚生会事業を委託する企業を公募するのは今回が初めてだ。9月5日まで企業から営業時間や販売価格などを盛り込んだ業務に関する企画書を募集し、10月上旬に委託

企業を決定する。募集する業務は▽食堂▽喫茶▽食料品・日用品・雑貨類販売▽浴場の4つ。企業は4業務全てに「一括して応募できるが、業務を選択して応募することも可能だ。食堂業務は、体芸、学生宿舎の2つに分割して応募することができる。

SASの早期発見・治療

谷川助教授ら起業

睡眠時無呼吸症候群(SAS)の早期発見・治療を目的し、谷川武助教授(人間総合)らがベンチャー企業「ソムニクス」(本社1つくば市書巻、資本金1千万円)を設立した。谷川助教授が社長を務め、検査機器「ソムニ」を開発し、SASの疑いがある人には医療機関や減量プログラムを紹介する。産学リエン共同研究センター(ILC)の創業支援プロジェクトに採択されてお

り、同プロジェクトからのベンチャー企業設立は4社目となった。

目となった。ソムニは口や鼻に装着したセンサーが睡眠時の呼吸状態を計測する。検査費用は一回5千円。希望者はソムニを一晩装着して検査し、同社に返送する。陽性が疑われれば診断された場合、受診者に医療機関を紹介し、精密検査の実施を勧める。診断がついた患者は持続陽圧呼吸療法(CPAP)により治療することになる。同社は電話での窓口

を設け、患者にCPAP使用に関する対応を行う。初年度は、全日本トラック協会や福島県内の自治体を対象に2万人を検査する予定。6千万円の売り上げを目指す。

日本語・日本文化学類

大連で出前授業

日本語・日本文化学類が学類の特色を活かした国際貢献をしようと、教員が海外で出前授業を行う国際交流事業「世界の中の筑波大学」を企画した。その一環として、7月23、24の両日、中国の大連大学で同学類の教員ら6人が授業を行った。複数の教員が海外へ出張して講義を行うことは国内の大学では珍し。

初日は、今井雅晴学類長(人文社会)らが「これからの日本文化研究」や「日本の西欧化の中の詩歌」など日本文化について講義した。日本語や日本文化に関心を持つ学生や教員、地域住民など約200人が受講した。2日目は、言語学や日本語の文法などを中心に沼田善子助教授(同)らが授

国際経営プロ専攻 法科大学院法曹専攻

文科省支援プロに採択

文部科学省が法科大学院と専門職大学院の優れた教育研究に重点的に予算を配分する「法科大学院等専門職大学院形成支援プログラム」の今年度の採択結果が8月17日に発表された。本学からは3件申請したうち、2件が採択された。今年度は全国から25件の申請があり採択は8件だった。このプログラムには18億円の予算が配分される。

青山学院大、同志社大の大学院と連携して行う「ビジネススクール教育の質保証システム開発」が選ばれた。同プロジェクトは、国内にあるビジネススクールの育成すべき人材▽教育システム▽システムの評価の指針確立を目指す。初年度は指針の第一次案を策定し、各校で教育実践を公開し、教員による相互評価の場を提供する。権広計教授(ビジネス)は「専門職大学院の第三者評価機関を確立し、国際的な産業

界での認知度を高めたい」と話した。国内で唯一の社会人向け夜間開講の法科大学院である同研究科法曹専攻からは「夜間社会人学生用実践的学習支援システム」が選ばれた。高速インターネットを活用し、時間的制約の多い社会人学生への学習支援システムの整備・開発を目指す。同専攻は最新の高速ネットワークインフラを備えた「Tビル」秋葉原ダイビル

テラヘルツ波の取り出し

門脇教授 世界で初めて成功

21世紀COEプログラム「未来型機能を創出する学際物質科学の推進」の拠点リーダー、門脇和男教授(数理物質)が、このほどテラヘルツ領域の電磁波で

ある、テラヘルツ波を外部に取り出すことに、世界で初めて成功した。テラヘルツ波は、将来的に医療機器などに応用できることが期待されている。

テラヘルツ領域は、電波と光の間にあり、これまで使えない領域とされてきた。門脇教授は、ジョセフソン接合という、超伝導体を重ねて作った素子を用いて発振させ、テラヘルツ波を外部に取り出した。

テラヘルツ波は、多くの分子の振動モードに一致する。分子の検出が可能になる。そのため、MRI・CTに代わる医療機器のほか、セキュリティ機器や量子エレクトロニクスなど幅広く応用できるとい

門脇教授は「今後は、高感度のテラヘルツ波の検出器や分光器を開発していきたい」と話している。

社会貢献プロジェクト 教職員が本学の知的財産や設備などを地域に活かす社会貢献プロジェクトの今年度の配分案が7月21日、決定した。新規課題10件と継続課題8件が採



TX開通 つくばエクスプレス(TX)が8月24日開業し、「つくば駅」は一番列車を待つ本学生や観光客でにぎわった

今回採択された新規課題は54件、継続課題が8件だった。1件につき上限200万円、総額は1000万円。昨年度の採択件数は、新規、継続合わせて13件増えた。予算の総額は、昨年度の1100万円から100万円減った。

夏休み自由研究

研究お助け隊

中学生60人参加 中学生の夏休みの自由研究を技術職員がサポートする「夏休み自由研究お助け隊」が7月30、31の両日、総合研究棟Bで行われた。2日間つくば市内を中心に中学生60人が参加した。この催しは技術専門官の齊藤静夫さん(数理物質科学等支援室)らが企画、運営したもので、昨年に引

つづき、患者にCPAP使用に関する対応を行う。初年度は、全日本トラック協会や福島県内の自治体を対象に2万人を検査する予定。6千万円の売り上げを目指す。

がつくばベンチャー協会と共催で「つくばベンチャー大賞」を創設した。つくばベンチャー企業を対象にした賞が筑波研究学園都市で創設されるのは今回が初めて。対象企業は100社を超えるが、本賞の制定によって産業の発展と質の向上が期待される。対象となるのは、つくば市と周辺で発足した企業やつくばの研究機関での研究成果を事業化した企業。選

考委員会とつむぎつくば会員の投票によって、ベンチャー大賞と特別賞を決める。第1回となる今年度は6月29日から9月30日まで募集し、11月中旬には受賞者が発表される。

同企画は提携先の大学を中心に、10年計画で行われる。使用言語は日本語だが、将来的には英語での授業も検討する。

今回採択された新規課題は54件、継続課題が8件だった。1件につき上限200万円、総額は1000万円。昨年度の採択件数は、新規、継続合わせて13件増えた。予算の総額は、昨年度の1100万円から100万円減った。

今回採択された新規課題は54件、継続課題が8件だった。1件につき上限200万円、総額は1000万円。昨年度の採択件数は、新規、継続合わせて13件増えた。予算の総額は、昨年度の1100万円から100万円減った。

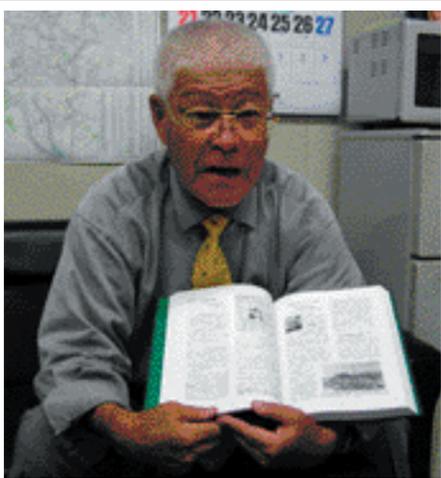
元硬式野球部監督

功力靖雄名誉教授

21年半にわたって硬式野球部の監督を務めた。1987年には、大学野球の日本一を決める明治神宮大会で、国立大学として初の優勝を果たした。現在はOB会長を務める功力名誉教授が、硬式野球部の創部百周年を受けて記念誌『21世紀の後継者たち』を編集、5月に刊行した。

記念誌は、96年までの野球部のグラビア写真と寄稿による部史、人物列伝、資料編の4部構成だ。40年、官立学校出身で、初のプロ選手になった中川翠氏などOBやゆかりのある関係者70人以上が寄稿している。呼びかけから編集までをほぼ一人で、458ページにまとめた。6

て自費出版はつらい。メルマガ方式にしようかな」と笑う。01年にも筑波大学硬式野球部二十五周年誌を制作した。記念誌も同雑誌も原稿はカステラ3本だ。それ



写真も800枚以上、掲載されている

記念誌を自費出版

ハカセの説明に聞き入る子どもたち



芳賀サイエンスキッズ代表

芳賀和夫元教授

手付かずの自然の中で昆虫採集に明け暮れた。そんな経験が、進路を決めた。「今の子供たちにも多くの自然に触れてほしい」

参加できるのは中学3年生まで。毎年60人ほど参加者があり、これまで500人の子供たちが参加してきた。はじめはつくば周辺の子供たちばかりだったが、口コミで広まり、今では水戸など県内全域から集まる。

子供の笑顔が原動力

「子供たちが自分の手で科学に触れる機会を作りたい」と思い、続けてきた科学教室、芳賀サイエンスキッズがもう7年目を迎えた。生物学類生を中心と

したスタッフと共に、つくば市を本拠地に活動を続けてきた。東京で過ごした少年時代、家のそばが環状七号線から近いが、子供たちは芳賀

中村紀一名誉教授

「存在することで行政に緊張感を与える。警察と同じよ。市の各機関にとっ

した。試合では相手ベンチを惑わせるような暗号を使い、単調な練習ではディスコ・ミュージックを流したりと次々にユニークな発案をした。「アマチュア野球の研究は遅れている。やれることはある。今後野球人として、筑波大とアマチュア野球界を見守り続ける」

退職教員

第2の人生 新たな挑戦

慕っている。「人前で呼ばれると恥ずかしいんだ」と照れ笑いを浮かべるが、どこか嬉しそうだ。

「安楽死を望むか」「もしも自分がアルツハイマー病にかかったら」。本学在職中に担当した総合科目「臨床人間学」での議題だ。学生が10人程度の小グループに分かれて、議論する。雙峰祭でベストレ

北アルプスのふもと、松本城まで歩いて5分のところにある城西病院。精神科

回診を行っていたら、臨床人間学の地域普及に務めている。退職して2カ月間はカナダやロッキー山脈、ガラパゴス諸島を訪ねた。気分を一新し、6月から現職に就いた。

城西病院副院長 庄司進一名誉教授

「存在することで行政に緊張感を与える。警察と同じよ。市の各機関にとっ

「安楽死を望むか」「もしも自分がアルツハイマー病にかかったら」。本学在職中に担当した総合科目「臨床人間学」での議題だ。学生が10人程度の小グループに分かれて、議論する。雙峰祭でベストレ



病院では内科と神経内科を担当している

なれない」と訴える。「生かされている間は取り組んでいきたい」と20年間の長期計画を立てている。休日には、その屋を巡ることもある。本学に赴任する以前、信州大で約20年教鞭をとっていたため、安曇野は家族と過ごした思い出の場所だ。「この地と人が大好きだから、より充実した人生を送るための手助けができれば」と新たなライフステージに向かって一歩、踏み出した。

行政学の知見活かす



教え子との飲み会でも話題が尽きない

はあまり勧告を出しながら、中村名誉教授は実際に使うことが多い。誤りは明確に示し、広く周知させたいと解決したいと解決しない」との信念からだ。任期3年で6件の提言・勧告をした。「市にあっては、恐いオンブズマンでしよう」。心を痛めることもある。道路工事によって宅地の境界線となっていた杭が、私生活では「会議に追われなくなった」と退職後の余暇を楽しんでいる。5月には10年前のゼミの教え子たちが、最終講義を開いてほしいと訪ねてきた。わざわざ福岡から来た教え子もいる。「結局は飲み会になったけど」と笑う。人望の厚い中村名誉教授は今日も敏腕をふるっている。

臨床人間学を広める

「安楽死を望むか」「もしも自分がアルツハイマー病にかかったら」。本学在職中に担当した総合科目「臨床人間学」での議題だ。学生が10人程度の小グループに分かれて、議論する。雙峰祭でベストレ

学群・学類再編

本学OB教員の見方

期待半分、手法に不満も

学類も解体し

専攻を学類に

土井隆義教授の話(人文社会、昭和58年度社会学類卒) 今回の学群再編に賛成だ。私の学生時代は、専攻の社会学に属する社会学、人文、比文などに取

り行ったが、同じ学群の自然学類の授業を取りに行っ

たことはなく、学類として

の交流もなかった。学群

再編で似た分野の学類同士

をくっつけることによって

交流もしやすくなり、外

から見やすくなるのではない

か。ただ今回の学群再編も

単に学類を並び替えただけ

で、今後、30年持つ制度で

あると思えない。もっと徹

底的にやるべきだ。個人的

経験生に「わかりやすい」と

重んずべきであろうが、受

験生に「わかりやすい」と

重んずべきであろうが、受

験生に「わかりやすい」と

重んずべきであろうが、受

験生に「わかりやすい」と

重んずべきであろうが、受

験生に「わかりやすい」と

には学類も解体し、専攻を

学類にすればよいと思う。

学群単位で入試を行い入学

後、学類ごとに振り分ける

形にすれば、入試の手間も

減るのでないか。

再編過程に問題

安易な迎合排せ

石塚修講師の話(同、昭和

58年度比較文化学類卒)

学群再編には賛成だ。ほ

ころびがあった学群制の再

編は必然だった。

ただし再編の過程で予

備校関係者に見解を求め、

それを理由に学内を説得し

ようとした点には問題が

あったと考える。

受験生の立場はもちろん

重視すべきであろうが、受

験生に「わかりやすい」と

重んずべきであろうが、受

験生に「わかりやすい」と

重んずべきであろうが、受

験生に「わかりやすい」と

重んずべきであろうが、受

加藤和彦教授の話(生命環

境、昭和54年度自然学類卒)

学群再編には賛成だ。第

一、第二という無味乾燥な

名前から、中身がよくわか

るようになった。生命環

境は大学院と直結し、一

つに維持するが問題

だ。理工学群に組み込まれ

ても、自然学類の他3専攻

の教員に、全学対象の基礎

的な授業を開講するよう願

んでいる。

文理融合に関しても、開

かれたカリキュラムを編成

することで維持できる。

にしている。

にしている。

にしている。

にしている。

にしている。

にしている。

日本最大規模の

情報学群に期待

加藤和彦教授の話(シス

テム、昭和60年度情報学

類卒) 私は情報学群の5

期生だ。できたばかりの

学類は教員も学生も新しい

ものを作ったという誇り

が溢れている。学類が

一つのファミリーのよう

だ。当時の第三学群は情

報、基礎工、社工から成

った。当時の第三学群は情

報、基礎工、社工から成

った。当時の第三学群は情

報、基礎工、社工から成

った。当時の第三学群は情

報、基礎工、社工から成

った。当時の第三学群は情

報、基礎工、社工から成

った。当時の第三学群は情

学群・学類の再編案

| | |
|----------------------|--------------------|
| 第一学群 400 | 人文・文化学群 240 |
| 社会学類 80 | 人文学類 120 |
| 自然学類 200 | 比較文化学類 80 |
| | 日本語・日本文化学類 40 |
| 第二学群 440 | 社会・国際学群 160 |
| 比較文化学類 80 | 社会学類 80 |
| 日本語・日本文化学類 40 | 国際総合学類 80 |
| 人間学類 120 | |
| 生物学類 80 | 人間学群 120 |
| 生物資源学類 120 | 教育学類 35 |
| | 心理学類 50 |
| | 障害科学類 35 |
| 第三学群 530 | 生命環境学群 250 |
| 社会工学類 120 | 生物学類 80 |
| 国際総合学類 80 | 生物資源学類 120 |
| 情報学類 80 | 地球学類 50 |
| 工学システム学類 130 | |
| | 理工学群 520 |
| 医学専門学群 202 | 数学類 40 |
| 医学類 95 | 物理学類 60 |
| 看護・医療科学類 107 | 化学類 50 |
| | 応用理工学類 120 |
| 体育専門学群 240 | 工学システム学類 130 |
| 芸術専門学群 100 | 社会工学類 120 |
| 図書館情報専門学群 150 | |
| | 情報学群 230 |
| | 情報メディア創成学類 50 |
| | 知識情報・図書館学類 100 |
| | 医学群 202 |
| | 医学類 95 |
| | 看護学類 70 |
| | 医療科学類 37 |
| | 体育専門学群 240 |
| | 芸術専門学群 100 |

再編まで

全国的でも類をみな
ユニークな現在の学群・
学類制度の見直しは、実は
古く新しい問題だ。古く
は86年4月企画調査室(当
時)が開学10周年にあたっ
て、「筑波大学の自己評価
と改革の指標」を発表、同
報告書でナンバ学群の問
題点を指摘している。「か
なる幅広い内容を含む学類
を基礎単位と
する複合体で
あるため、教
育目標を明
確にすること
が難しい」と
文理融合、国
際性の実質化
を危惧してい
る。

学群・学類
再編が進展し
たのは03年3
月。学群・学類
再編検討委員
会(代表北原保雄前学
長)がまとめた最終報告(筑
波大学の将来設計)で、学
群・学類再編の必要性を指
摘してからの。

04年4月、国立大学が
法人化され、岩崎洋一教授
が「社会学類のあり方」
を報告した。学群・学類
再編の議論が始ま
った。

今年に入り、学群・学類
再編への動きは加速する。
2月28日の第2回学群・
学類再編検討委員会(第
3回)で最終案と
なる「学群・学類再編の考
え方と基本骨格について」
が決定された。

新たな学群・学類の編成
案は7月21日の役員会で承
認され、正式に決定した。
今後は9月末までに教育課
程を編成し、コアカリキュ
ラムなどをまとめることに
なる。

と、そう思っています。
今、私はCDのレー
ディングをしたり、イバ
ンやライブで歌ったり
しています。曲を書く度、
人前で歌う度に、自分の
力不足や現実に打ちのめ
され、挫折しそうな
時もあります。でもそん
な時はひたすら歌が歌い
たくて仕方なかった在学
時代を思い出そうにし
ています。

道は繋がっています。
この大学で勉強したこ
と、経験したことは全
て、今の私を作っていま
す。これまでに感謝しな
がら、心はいつも前を向
いていたい、思ってい
ます。

筑波大生の皆さん、素
敵な、素敵な、大学生
を送って下さい。
(歌手、平成16年度生物
資源学類卒)



皆さん、こんにちは。
寺門麻美です。8月24日
に開通した「つくばエナ
クスプレス(TX)・タウン
のイメージング「Station」(8月17日
発売)を歌っています。
TXタウンのイメージン
グを歌えたことは、多
くの人の私を聴いて
頂ける大きな機会になり
ました。

私が将来の道として
「歌をうたって」とい
う決心したのは、大学
3年になる時でした。生
きることを意識した時、
歌うことで私は生きてい
たいと、初めて自分の内
の声を聞きました。

でも歌うたいとはい
ってもその術はわからず、



寺門麻美さん

一人で見学する日は続き
ました。歌手への道をあ
きらめて就職すべきかと
迷った時もありまし
た。それでも、歌うこと
だけは諦めたくないと
思っていました。支え
は、自分自身を信じて
きました。

道は繋がっています。
この大学で勉強したこ
と、経験したことは全
て、今の私を作っていま
す。これまでに感謝しな
がら、心はいつも前を向
いていたい、思ってい
ます。

筑波大生の皆さん、素
敵な、素敵な、大学生
を送って下さい。
(歌手、平成16年度生物
資源学類卒)

歌手の道まっしぐら

硬式テニス



日本で初めてテニスの正式な試合が行われたのは1898(明治31)年...

だが、物質の乏しい時代だったため、84年に同所の教員、坪井文道がゴム球を使用する軟式テニスを始めた。

カップを寄贈した。以後対抗戦は太田・清水杯争奪戦と名を変えた。

スポーツを通して文化の交流をはかろうと男子陸上ホッケー部とソウル大(韓国・ソウル市)の交流試合が8月23日、本学の多目的フィールドで行われた。



ボールを追う本学とソウル大の選手(8月23日、多目的フィールド)

将来は日韓問題扱う講義も

学が、スポーツ教員韓国歌手BOA(ボア)など共通の話題で盛り上がることもしばしば。ソウル大チームには兵役を終えた学生もいて、体の大きい選手が少なくない。「体格差が普段の対戦相手とはまた違う緊張感を生む」と選手交流にも力を入れている。

一世紀を超える高師・高商戦

欧州で78連勝の太田芳郎



1928年、13週連続優勝当時の太田芳郎。右は全ロンドン選手権決勝戦の相手ハリス(イギリス)の太田芳郎著「世界テニス行脚・ロマンの旅」より

学。翌年には南英選手権大会など欧州のさまざまな大会に出場し、13週連続優勝、78連勝を達成。「カップハンター」の異名を取った。

香菜子(同3年)、澤田文子(同2年)らが出場した。第7戦は8月20日に行われ3-2でダブルを下し13位だった。

高師と高商の対戦は、高師が高商にもテニスを伝えた。高師の附属中学の出身者が高商にもテニスを伝えた。

ユニバーシアード・イズミル大会 本学勢金2・銀2・銅1

学生スポーツの祭典、ユニバーシアード・イズミル(トルコ)大会が、8月11日から21日まで行われた。本学からは、陸上、サッカー、バレー、水泳に出場し、金メダルを獲得したのをはじめ、各競技で活躍を見た。

上 400m障害 成迫、前半飛ばし金

陸 1600mリレーでも銀

陸上競技では20日、成迫健児(体育3年)が男子400m障害に出場し、48秒96で金メダルを獲得した。成迫は同日行われた1600mリレーにもアンカーとして出場し、3分03秒で準決勝では49秒65と

タイムを上げ全体のトップで通過、決勝は前半から飛ばした。決勝では、6台目まで13

歩で走り、この時点で2位の小池崇之(順天堂)に3メートルの差をつけた。後半の加速が持ち味の、この時点で「勝利を確信した」と尾懸賞陸上競技選手団監督(人間総合助教授)は話した。

サッカー イタリア下し金

男サ 藤本が得点王に

蹴球部のMF藤本淳吾(体育4年)とDF秋葉陽一(同)が出場した男子サッカー決勝は8月20日、P

男子バレー部の石島雄介(体育4年)とOBで現在Vリーグで活躍している柴田恭兵(東レ・アローズ)、北島武(堺プレザーズ)らが出場した男子バレー決勝は8月20日に行われた。フルセットの末3-2でトルコに敗れ、2大会連続の銀メダルに終わった。

男子 石島活躍も銀

女子 本学勢4人出場バレー

先取点を獲得した第一セット、後半からは石島のサーブ・ブロックがまきまり2セットを連取した。3セット目、トルコの強烈的なジャンプサーブが日本のリズムを乱す。その後3セット連取され、逆転負けした。

女子バレー部からは白丸寿美(体育4年)、林蓉子(同)、三上彩(同)、平井

はいう。1600mリレーではアンカーの第4走を務め、1位のポーランドに迫った。最後は並走し逆転はできなかったが、尾懸賞監督は「各国のエースと遜色のない走りだった」と評価する。

水泳競技では、宮下純一(体育4年)が50、100m背泳ぎに出場。100mでは55秒81で、銅メダルを獲得した。宮下は、03年の初出場では56秒19で6位入賞。成長を見せつけた。

その直後、流れは一転石島・三上圭治郎(体育3年)の猛攻で26-24で勝利した。都澤監督は「精神的成長が最後の追い上げにつながった」と話した。

宮下、銅メダル 100m背泳ぎ

東西インカレ 地元の意地 3連覇 Vリーグ選手の対抗戦も

水泳競技では、宮下純一(体育4年)が50、100m背泳ぎに出場。100mでは55秒81で、銅メダルを獲得した。

東西の強豪チームが大日本一をかけて争う「2005東西インカレ」バレーボール男子王座決定戦inつくばは、つくばエクスプレス開業記念が7月16、17の両日、つくばカピオ(つくば市竹園)で行われた。男子バレーボール

先取点を獲得した第一セット、後半からは石島のサーブ・ブロックがまきまり2セットを連取した。3セット目、トルコの強烈的なジャンプサーブが日本のリズムを乱す。その後3セット連取され、逆転負けした。

その直後、流れは一転石島・三上圭治郎(体育3年)の猛攻で26-24で勝利した。都澤監督は「精神的成長が最後の追い上げにつながった」と話した。

女子バレー部の石島雄介(体育4年)とOBで現在Vリーグで活躍している柴田恭兵(東レ・アローズ)、北島武(堺プレザーズ)らが出場した男子バレー決勝は8月20日に行われた。フルセットの末3-2でトルコに敗れ、2大会連続の銀メダルに終わった。

その直後、流れは一転石島・三上圭治郎(体育3年)の猛攻で26-24で勝利した。都澤監督は「精神的成長が最後の追い上げにつながった」と話した。



スパイクを打つ三上圭治郎(7月17日、つくばカピオ)

ノーベル物理学賞・東教大学長・後進の育成...

来春 朝永博士生誕百年

多彩な記念事業で祝う 名作「評伝映画」も再上映

1965年に、日本人として2人目のノーベル物理学賞受賞者となった朝永振一郎博士の生誕100年を記念し、来年3月から夏にかけてシンポジウムをはじめとした記念事業が行われる。



1977年12月3日、最後に来学したときの朝永博士

4月29日、つくば国際会議場エポカルホール(つくば市竹園)で開催される

学生の創作ダンスコンクールとして全国最大規模の第18回全日本高校・大学ダンスフェスティバルが7月29-31日の3日間、神戸市で開催された。昨年、史上初の4連覇を達成したダンス部は今年、NHK賞を受賞したものの、最高位の文部科学大臣賞は逃した。

NHK賞を受賞

惜しくも5連覇ならず

今回は大会まで十分な練習時間が無く、短時間で作品を作り上げたため、ダンス部にとっては厳しい大会となった。総勢30人の部員がパーカッション中心の音楽に合わせて乱舞する新趣向の作品だった。

記念事業では、近隣の中学・高校で朝永博士の業績を紹介する出前講座を行う「青少年プログラム」や、博士に関する総合ホームページの開設も予定している。



私は、5人兄弟の下から2番目、父は私が小学3年生の時に確か癌で亡くなり、母一人の手で育てられた。

小学校に入る前から模型飛行機制作に明け暮れた。高価なキットは買えず、材料をあちこちからかき集め、ゴム動力の飛行機制作に傾注した。中学、高等学校へと進むにつれて一層、熱が入り、アルバイトをしながら貯金をしつつ、それを模型飛行機制作費に費やし

失敗おそれず夢を実現 安全な水の供給を目指す

ッパになる心細さを感じた。息の長い研究者になりたいと意識し、決意した。母が内職までして生計を立てているなか勝手に大学に進学し、母を再び困らせた。しかし卒業後、環境というキーワードがあった。これを引き金とし、再び目標を達成するため、実行に移すことにした。このとき、物への研究は、私にとってすべてが新しく、覚えることが満載していた。しかも高等専修学校時代まで生計が大の苦手で何度も落ちたので私にはこたえ



杉浦 則夫

苦心惨たんして立てた実験計画で実験がうまく行った時の喜びは、まったく模型飛行機制作から学んだことと同じで、何にも変えがたい。今、大学という教育は水環境生態工学。

学生諸君！大いなる興味、関心を駆り立てるものに遭遇し、とにかくやってみよう。2度や3度の失敗は、長い人生で何ともなる。大いなる興味、関心を駆り立てるものに遭遇し、夢を現実のものにしよう。

環境科学研究所助教。茨城県職員などを経て98年より本学助教。専門は水環境生態工学。

日本初の栽培実験 環境への影響「なし」

本学の遺伝子実験センターは、隔離ほ場内で、日本初となる遺伝子組み換え樹木の栽培実験を行うと7月22日、発表した。ほ場では今年9月から12月月末にかけて、耐塩性遺伝子組み換えユーカリを栽培する予定だ。耐塩性遺伝子組み換えユーカリは環境保全や産業樹木として注目され、今回の実験は関連企業や他大学の関心を集めている。

同実験に携わる渡辺和男教授(生命環境)によると、実験終了後、遺伝子組み換えユーカリは伐採される。通常ユーカリが開花するには10年程かかるため、花粉や種子が飛散する心配はなく、実験ユーカリが環境へ影響を与えることはないという。渡辺教授は「学生に対する危険性もない」と説明した。

ロボカップ2005
坪内助教ら参加
世界各国の研究者たちがロボットやプログラムの性能を競いあう「ロボカップ2005」が7月13日-19日にインテックス大阪(大阪市住之江区)で行われた。本学からは知能ロボット研究室の坪内孝司助教が



千本秀樹

「私の一冊」といっても、山本巴文庫第一期として刊行された十巻から成る大部な使徒たらんとして答えを導いていく。しかし、これらの冊子は、神話を事実とする皇国史観の時代において、それを否定しているという、治安維持法違反の材料とされてしまった。

「私の一冊」といっても、山本巴文庫第一期として刊行された十巻から成る大部な使徒たらんとして答えを導いていく。しかし、これらの冊子は、神話を事実とする皇国史観の時代において、それを否定しているという、治安維持法違反の材料とされてしまった。

自己と社会を改革する営み 囚われの女たち

山代巴著
吉宗は獄死するが、釈放された巴は戦後帰郷し、農村の女性たちと吉宗とともにつむぎだした指針に沿ってサークル運動を展開する。この運動は、共同の力によって自己と社会を改革する営みである。私流に言い換えば、人と人との関係を改革することによって世間を作り直していく作業だ。巴の戦後の営みについては『山代巴文庫』第二期全八巻に収められているが、その基礎となるものは、『囚われの女たち』に描かれた戦時下であった。歴史を人と人との関係の改革の営みとして考えたいという、私の歴史観に大きな影響を与えた作品である。山代巴はついでに『くらくら』という小説を書いた。御冥福を祈る。(怪書房・1995年) (人文社会・教授)

能を競いあう「ロボカップ2005」が7月13日-19日にインテックス大阪(大阪市住之江区)で行われた。本学からは知能ロボット研究室の坪内孝司助教が

大臣賞が欲しかったが、全員で作品を作り上げた達成感があった。NHK賞でも嬉しい」と語った。



山代巴著

「私の一冊」といっても、山本巴文庫第一期として刊行された十巻から成る大部な使徒たらんとして答えを導いていく。しかし、これらの冊子は、神話を事実とする皇国史観の時代において、それを否定しているという、治安維持法違反の材料とされてしまった。

院生 厚生指導

「指導教員とよく話し合...」
「研究室の先輩と衝突...」
「進路が不安...」
博士課程の改組・再編や
連携大学院など大学院が多
様化し、10年前は3割ほど
だった院生も現在は
5640人。だが、学生相
談室の相談員でもある杉江
征助教授(人間総合)は「多
様な院生に対
応する厚生指
導はあまり行
われていな
い」と指摘す
る。



院生でそれぞれ研究に取り組む

ストアカ

行き場のない院生の悩み

支援体制の確立急ぎ必要

吉田吉行さん(数理工学)は「院生の生活の中心は学群...」
「研究室は小さな会社のようなもので、活発であればあるほど問題も生じる」と話す。佐藤嘉秀さん(同)は「友人の研究室にある...」
「院生生活の中心は学群...」
「研究室は小さな会社のようなもので、活発であればあるほど問題も生じる」と話す。佐藤嘉秀さん(同)は「友人の研究室にある...」



学内バスは、29年間に

1976年から29年間、学生の足として親しまれてきた学内バスが7月22日、業務を終了し、本部棟北側にある学内バス専用車庫で「さよなら式典」が開かれた。式典に参加した学生、教職員を合わせて120人が、最後の運行を終えたバスと運転手7人を労った。週休2日制の導入により大幅な減便を行った93年以降、学内バスの利用者数は下降の一途をたどっていた



最後の運行を終えた運転手さんに花束が贈られた

「逆だ、大作光子さん...」
「図書情報メディア研究科1年」は「ゼミの学生が1人で研究の視野が狭まるのではないかと心配する。指導教員との関係に悩む学生もいる。学生にとって、論文や学会活動に際し、重要な役割を果たすのは指導...」

「友部小アート空間に総合OB教員が企画運営...」
「芸術専門学群総合造形コースの学生ら20人が中心となって、現代美術の展覧会「アートドリル」が8月14日から20日までの一週間、友部小学校(茨城県友部町)で開催された。同小学校の児童や地域住民ら約142人が訪れた。これは、昨年度芸術研究科を修了し、現在同小の教員をしている春田友則さんが企画した。「子供たちに、気軽に芸術に触れる機会を提供したい」と本学の後輩らに呼びかけ、4月から本格的に準備を進めてきた。下駄箱や廊下をはじめ、一つの教室に1作品ずつ、計15作品を展示し、来場者を楽しませた。



ほうきやパケツ、上履きなどを使った楽器のアート(友部小学校で)

「大学説明会3日間で793人が参加...」
「毎年夏に開催される「受験生のための大学説明会」が7月27-29日の3日間、開催され、昨年より807人多い793人が参加した。今年度は、学群ごとの開催を取りやめたため、分野が近い複数学群の説明会に参加できるようになった。日程も昨年までの2日間から3日間に変更し、参加者の増加を図った。各学群・専門学群とも模擬講義や模擬実験、在学生による体験談を盛り込み、特色をアピールした。説明会には07年度の学群再編実施以降に受験する高校1、2年生も参加していた。自然学類や人間学類は再編後のカリキュラムや入試制度についても説明を行った。自然学類は「再編によって受験生、在校生に不利になることはない」とし、「今後、より専門性の高い授業を学生に提供する努力を始める。」

「2学期入学式...」
「平成17年度2学期入学式が8月8日、大会館特別会議室で行われ、学群生24人、大学院生16人の計40人が入学した。1学期末卒業式が7月25日行われ、31人が学位記を受け取った。同日、大学院学位記授与式も行われ、修士課程修了者28人、博士課程修了者18人、同課程修士取得者2人、論文博士23人の計71人に学位記が授与された。訂正 前号の東西インカレについての記事で主権が「つくばユニテッド」とあるのは「全日本大学バレーボール連盟」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

「ホームページ改ざん問題...」
「課外活動団体のホームページが改ざんされたため、サービスを停止していたウエブサーバ「stb」が7月4日、復旧した。同システムは学生団体などのホームページを管理しているが、6月6日改ざんが発覚した後、すべてのサービスを停止した。現在は管理用のコンピュータを撤去し、7月から新たに学術情報処理センターが提供するサーバ「レンタルサーバ」を利用している。同サーバのサーバ管理は同室が行うが、管理用コンピュータの設置やパスワードの設定などは学情センターが担当する。パスワードはコンピュータがランダムに設定したものを配布し、セキュリティレベルの向上を図るという。

「友人関係が広げる世界観...」
「この記事にとりかかると、何気なくテレビのスイッチを入れた。画面に映ったニュースで、高知県にある早明浦ダムが貯水率が、夜に降った雨で回復したと報じていた。これから台風の季節になるけれど、雨が四国を潤してくれることを願わずにはいられない。2歳で引っ越してからずっと茨城で育ってきた。そのせいもあってか、大学に入るまで関東以外の地域にそれほど関心がなかった。それが今では地方のニュースが気になるって仕方ない。それはやはり、地方出身の友人が増えたからだろう。北は北海道から南は種子島まで、様々な知り合いがいるが、関東出身者を探すほうが難しい。渾水の四国にも高知ではないが徳島に一人いる。人を知り合うを計るとき、障書の個人が持つてゑるだろうから。」

「2学期入学式...」
「平成17年度2学期入学式が8月8日、大会館特別会議室で行われ、学群生24人、大学院生16人の計40人が入学した。1学期末卒業式が7月25日行われ、31人が学位記を受け取った。同日、大学院学位記授与式も行われ、修士課程修了者28人、博士課程修了者18人、同課程修士取得者2人、論文博士23人の計71人に学位記が授与された。訂正 前号の東西インカレについての記事で主権が「つくばユニテッド」とあるのは「全日本大学バレーボール連盟」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

「262万6千メートルを無事故・無違反で走行した。29年間の学内バスの運転手を務めた泉文夫車庫長は「乗客を目的地まで安全に送り届けるという使命感を持って運転し続けた。騒音、子供を叱ったことも今ではいい思い出」と振り返る。学内バスは学生、教職員だけでなく、その家族や学外からの訪問者にも利用されていた。中には四季折々の大学構内の景色を堪能したい」と語る。一方、「有料化されても、より便利になれば利用客も増えるのではないかと語った。工藤典雄副学長(総務・企画担当)は「路線バスは今までの暖かい雰囲気とは異なるが、様々な学問分野を運ぶ架橋としての活躍を期待している」と式典を締めくくった。

「友部小アート空間に総合OB教員が企画運営...」
「芸術専門学群総合造形コースの学生ら20人が中心となって、現代美術の展覧会「アートドリル」が8月14日から20日までの一週間、友部小学校(茨城県友部町)で開催された。同小学校の児童や地域住民ら約142人が訪れた。これは、昨年度芸術研究科を修了し、現在同小の教員をしている春田友則さんが企画した。「子供たちに、気軽に芸術に触れる機会を提供したい」と本学の後輩らに呼びかけ、4月から本格的に準備を進めてきた。下駄箱や廊下をはじめ、一つの教室に1作品ずつ、計15作品を展示し、来場者を楽しませた。

「友人関係が広げる世界観...」
「この記事にとりかかると、何気なくテレビのスイッチを入れた。画面に映ったニュースで、高知県にある早明浦ダムが貯水率が、夜に降った雨で回復したと報じていた。これから台風の季節になるけれど、雨が四国を潤してくれることを願わずにはいられない。2歳で引っ越してからずっと茨城で育ってきた。そのせいもあってか、大学に入るまで関東以外の地域にそれほど関心がなかった。それが今では地方のニュースが気になるって仕方ない。それはやはり、地方出身の友人が増えたからだろう。北は北海道から南は種子島まで、様々な知り合いがいるが、関東出身者を探すほうが難しい。渾水の四国にも高知ではないが徳島に一人いる。人を知り合うを計るとき、障書の個人が持つてゑるだろうから。」

学生宿舎の静脈認証システム

運用開始時期 決まらず

個人情報管理など不明 全代会 大学に要望書提出

学生宿舎地区の安全を確保するため各種の玄関に設置された静脈認証システムの利用が遅れている。

全学学類・専門学群代表者会議(全代会)が5月13日に▽静脈認証システム導入の強化▽システム開始の延期——を求める議案書を提出し、これを受けて大学は運用の延期を決定した。学生からは「いつ始まるのか」「現状はどうなっているのか」など不安の声が出ている。当初、大学は5月20日の運用開始を予定していたが、8月11日までに2回、一部の棟で試験運用を実施したのみだ。

昨年からの同システムの導入をはじめ、学生宿舎の改善を検討してきたセーフティプロジェクト(リーダー 藤原雄典)が、全代会に要望書を出した。個人情報の管理について大学側は「漏洩する可能性は極めて低い」と説明したが、全代会が提示した管理者不在時の対応、災害時の対応問題については明確な回答が得られなかった。

6月に行われた第一回目の試運転では、認証がうまく動作しないという問題が明らかになった。同システムを販売するデジコム(本社 東京都・新宿区)は「女性の手の甲は男性よりも脂肪が付いているため、手をかざす角度によっては認証しにくくなる場合がある」と

教授風詐欺師を逮捕

つくば中央署 「被害者は届出て」

本学生を主な相手に、寸借詐欺を繰り返していた男2人が逮捕された。

つくば中央署は6月14日、阿見町吉原、無職、岡田志功容疑者(50歳)を詐欺の疑いで逮捕した。調べによると岡田容疑者は、今年4月1日午後3時ごろ、天久保の路上で本学の男子学生を呼び止め、「寸借返すから」といって、この男子学生から2度にわたって現金計5万5000円をだまし取った疑い。



谷田部中の夏期講習 本学生28人が学習指導 中学生の学力向上を支援

つくば市立谷田部中学校の夏期講習「谷田部塾」で、本学生28人が7、8月中旬の15日間、夏休みの課題や受験勉強を手助けするなど学習指導に携わった。

これは、学習上のつまづきを解消し、生徒の学習意欲を向上させようと文部科学省が行っている「学力向上支援事業」の一環で、昨年度から始まった。2年目の今年も好評だ。

指導科目は英語・数学・国語が主で、同中学校でのべ745人が受講した。同

と原因を説明する。内蔵されている赤外線カメラを調整するなど改良をし、8月に第2回目の試運転を実施した。

これらを踏まえて厚生委員会は、学生生活課と協議を進めている。目下の協議事項は▽玄関扉横に設置される新聞受けに鍵を設置するかどうか▽外廊下のある棟へ柵を設置する▽非常口からの出入りの規制——などだ。システム保護のため、防犯カメラを玄関に新設するかどうかも協議中だ。

小林さんは「学生に対する説明が不十分だ」と話す。未解決問題については、

このほか、岡田容疑者は昨年4月にも同様の手口で別の本学生(当時2年生)から現金合わせて12万5000円をだまし取った疑いがかけられており、同署は余罪についても調べている。

同署は8月14日、寸借詐欺の疑いで住所不定無職、市原勇容疑者(51歳)を逮捕した。市原容疑者は同日、

つくば市柴崎の知人宅にいたところを逮捕された。調べによると、市原容疑者は今年5月5日と7日に、本学の男子学生から現金計37万円をだまし取った疑い。市原容疑者は、自らを暴力団関係者と名乗り、「借借書を書き、返済する」と嘘を言って被害者をだまし取った。

市原容疑者は同様の手口で昨年7月と今年4月にも本学生から多額の現金をだまし取っている。教授風を装ったり、暴力団関係者であると詐称したりしていた。本学生を狙って繰り返した寸借詐欺は5件以上、被害総額は100万円以上に上るとみられ、余罪を追究している。警察に届けていない被害者もいるとみら

会議で議論する。9月以降も大学側に公聴会の開催を求めたいという。

大学は、全代会が了承するまで運用しないことを約束している。学生生活課は「運用開始時期は未定」としている。

9月からは、5、6時間目から放課後にかけて、引き続き実施される。参加希望者を現在も募集中だ。

029・853・4744(吉田武男助教・人間総合)まで。



3年生には主に受験勉強の手助けをする(谷田部中図書館で)

生徒もリラックスできる」と話。

教員志望の鬼塚英城さん(社4年)は「指導方法を学ぶいい経験。夏休み中は生徒の違った姿を見られるのいい」と言う。

9月からは、5、6時間目から放課後にかけて、引き続き実施される。参加希望者を現在も募集中だ。

029・853・4744(吉田武男助教・人間総合)まで。

後任業者選定に利用

全学学類・専門学群代表者会議(全代会)が学生宿舎の浴場に対する要望書を作成するため6月1日から8日間行った「宿舎共用棟の浴場に関するアンケート」の結果がまとまった。

結果は厚生会理事会上に報告し、11月に撤退する吉池サービスの後任業者選定に役立てたいという。

回答は社会学類、医学、体育、図書館情報専門学群を除く14学類から計1072人分集まった。「料金に関する質問項目では「非常に不満」と答えた学生が614人と最も多かった。「営業時間が延長

間化」「衛生面の向上」などの意見がみられた。

全代会の小林敬介厚生会委員長(工学2年)は「回数券制度など新たな要望を把握することができた。後任業者の選定に結果を反映させたい」と話した。今回のアンケートは全代会が、学類の授業などで配布、回収した。

標高500メートルから山頂を確認する。雲間から地上が確認できれば、出発の合図だ。機体を広げて飛び立ち、地上に降りたら機体を車に積みまた山頂を目指す。ハンググライダーとパラグライダーを楽しむ「アイオロス」の練習風景だ。

アイオロスは1983年に創設され、85年には日本テレビ主催の「鳥人間コンテスト」に出場したこともある。週一回ミーティングをし、土日はつくばから約30キロメートル離れた足尾山(茨城県新治郡)

へ赴く。

個人によって練習のペースはさまざま。天気が良ければ週5日以上、足尾山山頂を運ぶメンバーもいれば、月に一度、気分転換に参加するメンバーもいる。ハンググライダー学生リーグ主催の大会への参加も自由だ。

ハンググライダーは、全長5メートルの大きな三角形のパイプ枠でできた固定翼に布を張り、ぶら下がって滑空する。その形から魚の「エイ」に例えられることもある。飛行距離は長く、伊藤由陸さん(ひろり・数理物理学研究科3年)は「練習を積みめば60-70キロを飛行することも難しくはない。足尾

から那須高原まで飛んだこともある」と胸を張る。パラグライダーは四角形やフーメラン型のパラシュート傘にぶら下がって飛行する。ハンググライダーに比べて飛行速度・距離は下回るが、ゆっくりと眼下の景色を楽しむことができるという。

5月からパラグライダー飛行する。ハンググライダーに比べて飛行速度・距離は下回るが、ゆっくりと眼下の景色を楽しむことができるという。飛行中、頬をなでる風が爽快だ。

飛行だけが活動の魅力ではない。山の麓にはショップと呼ばれる場所があり、入山管理を行うSetが提供する休憩所がある。休憩所には、慶応義塾大や早稲田大、日本大などの主に関東の大学から訪れた学生が集まる。練習中、お互いにアドバイスをし合うこともしばしばだ。他大学の学生と意気投合し、全国各地で行われる大会の会場へ乗り合わせて行くこともある。

代表の桑島修彦さん(工学3年)は「どこまで飛べるかも、誰と知り合うかもわからない。気まぐれだけれど、そこがまた面白い」と醍醐味を語った。

(本紙・吉田ちひろ二人間学類)

気ままな飛行で、絶景楽しむ



アイオロス

アイオロスは1983年に創設され、85年には日本テレビ主催の「鳥人間コンテスト」に出場したこともある。週一回ミーティングをし、土日はつくばから約30キロメートル離れた足尾山(茨城県新治郡)

へ赴く。

個人によって練習のペースはさまざま。天気が良ければ週5日以上、足尾山山頂を運ぶメンバーもいれば、月に一度、気分転換に参加するメンバーもいる。ハンググライダー学生リーグ主催の大会への参加も自由だ。

ハンググライダーは、全長5メートルの大きな三角形のパイプ枠でできた固定翼に布を張り、ぶら下がって滑空する。その形から魚の「エイ」に例えられることもある。飛行距離は長く、伊藤由陸さん(ひろり・数理物理学研究科3年)は「練習を積みめば60-70キロを飛行することも難しくはない。足尾

Who's Who?



ペDESTリアンを軽快に走る水谷さん

「小出監督の指導で走ってます」

水谷 理紗 さん (医学2年)

4月に雑誌の募集広告を見て、「小出監督に指導してもらえませんか」とプロジェクトに応募。面接とトレーニングによる選考会では「私はこれからまだまだ

有森選手らとトレーニング 練習メニューで記録目指す

はい、硬式テニスに専念し、マラソンは片手間だったが、軽やかなフォームを見た小出監督は「いいバネがある。鍛えればうちのチームに

ニューを考えてもらえたいと喜んだ。

メニューは、ゆっくりと走り始め、次第にペースをあげるビルドアップが中心だ。「まずは長い距離を走るための足が必要」と指摘され、1日に40キロ走り込む日もあった。スピード練習が少なかったが、意外だった。これは自分で流した。これまで「頑張れば速くなる」と思っていた練習が楽しくなってきた。

7月には約1週間、アメリカのボルダーで行われた合宿に参加した。海抜2800メートルの地点にある往復16キロの「マクノリア」と呼ばれるコースに挑んだ。コーチングから小出監督の

キャリアデザインルーム

二学B棟2階に開設

就職支援の二環としてキャリアデザインルームが第二学群B棟2階の学生控え室に開設され、相談を受け付けている。来年3月まで相談員の草野祐子さんが進路や学生生活に関する悩みなどの相談に乗る。無料。

人文学類就職説明会

OBの3講師招いて

人文学類は卒業生を招いて就職説明会を9月16日午後3時15分から6時15分までID204で行う。企業への就職や、教員、公務員を希望する学生が主な対象。講師は、文化庁文化財部伝統文化課主任調査官の菊池健策氏、ベネッセコーポレーション教育研究開発部の藤原浩二氏、Doo Wop(テカベラ)の菅弦楽団。第2部は、ギター・エンディング・ハントル・ピアノ・弾き語り・ギター弾き語り・メッセー

参加できる。問い合わせ先 0299-80334001 (人文学類長室)

ウガンダへ机や椅子を

ウガンダに建設中の小学校で、机や椅子を購入するために使われる。開場は午後6時、開演は6時半。入場料は500円。問い合わせ先 090-9997-4610 Eメール aki_ko@hotmail.com (堀田)まで

新人記者募集

編集部では、新人記者を募集しています。企画の立ち上げから取材、撮影、執筆、編集まで、全て学生の手で行っています。取材先は学生から学長、世界大会出場選手やノーベル賞受賞者などさまざま。取材範囲も本学のニュースを追って、学生宿舎から学長室はもちろん、スポーツ大会の開催地など全学、全国にわたります。shinbun@sakura.cc.tsu kuba.ac.jp

次号は

10月17日(月) 発行予定です

筑波野生動物図鑑

アオサギ

体色が灰色のサギ。体長は約90センチで頭は白。目の上から後頭部まで黒いラインが伸びる。胸や腹、首の前面に黒い斑紋がある。河川や水田、沼などに生息する。長い足で水辺を歩き、魚などの水生生物を探す。学内では、兵太郎池や第二、第三学群棟の間の噴水池で時折、見かける。「アーツ」という鳴き声に驚かされる。(写真・文)大竹亮介、清水将太・生物学類2年、野生動物研究会)

催事

前売り一般1200円、学生・シニア1000円。当日一般1500円、学生・シニア1200円。障害者手帳持参の方・付き添い共1000円、小中学生800円。問い合わせ0299-8525881(ナバホール)。

◆映画上映「わがびのころ／蔵野行」9月24日午後1時、6時半開演、つくばナバホール。

◆管弦楽団 金管・打楽器 セクシオンによるアンサンブルコンサート 9月11日 午後2時から、ナバホール 前売り一般1500円、学生1000円。当日券300円増し。問い合わせ0299-5230333(長崎・広島60周年チャリティコンサート実行委員会、鶴) ◆管弦楽団第58回定期演奏会 10月7日午後7時開演、ナバホール。チャイコフスキー作曲バレエ組曲「くるみ割り人形」から、ラフマニノフ作曲「交響曲第一番」指揮田中一嘉。S席1200円、A席800円。問い合わせ a.nakama@yahoo.co.jp

◆管弦楽団 金管・打楽器 セクシオンによるアンサンブルコンサート 9月11日 午後2時から、ナバホール 前売り一般1500円、学生1000円。当日券300円増し。問い合わせ0299-5230333(長崎・広島60周年チャリティコンサート実行委員会、鶴) ◆管弦楽団第58回定期演奏会 10月7日午後7時開演、ナバホール。チャイコフスキー作曲バレエ組曲「くるみ割り人形」から、ラフマニノフ作曲「交響曲第一番」指揮田中一嘉。S席1200円、A席800円。問い合わせ a.nakama@yahoo.co.jp

大学会館書籍部ベストセラー

| | | |
|----|---------------------------------|--------------|
| 1 | 恋バナ | Yoshi/スターツ出版 |
| 2 | 土の中の子供 | 中村文規/新潮社 |
| 3 | 花まんま | 朱川湊人/文芸春秋 |
| 4 | スイッチを押すとき | 山田悠介/文芸社 |
| 5 | 野ぶたをプロデュース | 白岩玄/河出書房新社 |
| 6 | 天使のナイフ | 葉丸岳/講談社 |
| 7 | 新ゴーマニズム宣言SPECIAL靖国論 | 小林よしのり/幻冬舎 |
| 8 | 憲法を変えて戦争へ行こうという世の中にしないための18人の発言 | 井筒和幸ほか/岩波書店 |
| 9 | 子どもの心 | 二木克明/1万年堂書店 |
| 10 | 病気になるない生き方 | 新谷弘実/サンマーク出版 |

8月の1位は、Yoshi(書)の「恋バナ(赤い)」。3位は朱川湊人(書)の「花まんま」。第133回直木賞受賞作「花まんま」。主人公の妹が突然ある女性の生まれ変わったと言い出した。半信半疑でその女性の家を訪れると、そこはやりきれない悲しみがあふれた。大阪の路地裏を舞台に、失われてしまった懐かしさを描く短編集。催事は、青土社フェア(10%オフ、12日から10月中旬まで)